第 24 回統一パレード･集会　宣言

昭和 62 年 8 月に新聞により報道された横浜環状道路（圏央道）南線の建設計画に驚愕したあの日から、四半世紀の年月が経ちました。この間、私たちは一貫してこの計画に対し、自然環境、生活環境、子どもたちの未来を守るため抜本的見直しを求め「高速道路はいらない！」と訴え続けてきました。

今年は、事業評価監視委員会による 3 回目の見直しが先般 10 月 22 日に行われました。第 1 回目は平成 17 年 3 月に開催され、その時は「環境保全に万全の対策を図ること」と「事業を進めるにあたっては住民の理解を得ることが不可欠である」との付帯意見を付け継続との結論が出されました。しかし、前回 21 年 11 月に行われたときは、委員会では殆ど議論されることなく同じ付帯意見付きで継続となりました。

そして、今回、私たちは事前に委員会へ、この間の疑問、不安等問題点に関し資料を添えて訴えてきました。特に本計画では、地震対策について道路建設の安全性ばかりが強調され、沿線の宅地への影響、安全性は全く考慮されていません。そこで委員長に地震や地質の専門家がいない委員会はおかしいのではないかと主張した結果、委員会では地盤工学の専門家を委員長自らが選任するとの発言を勝ち取ることができ、この 26 日に審議継続となりました。また、今回はすべての委員が発言をするという前代未聞の委員会となったことは一歩前進といえます。

しかし、油断はできません。NEXCO は事業を着々と進めているからです。道路予定地で共有地等障害のない地区から工事を進めようとしています。特に桂台トンネルへの着工は来年度にも行う構えを見せ、「出来るところからやると」と豪語しています。

私たちは、今後もあらゆるアイデイアと法律を駆使してこの不要の高速道路建設の白紙撤回を含む抜本的な見直しをさせなければなりません。

横環南線に１メートル当たり５０００万円もかけるより、生活道路を整備することを求めます。車優先ではなく人や自然に優しい公共交通システムの整備を要求します。

私たちの今までの 24 回に及ぶこのパレードにより供用予定は当初の平成１７年度から 33 年度まで引き延ばされました。引き続き無駄で有害な横環南線の建設計画が抜本的見直しになるまで頑張りましょう。

子どもたちの未来のために！高らかに宣言します。

2012 年 11 月 23 日

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会
庄戸四町会合同道路委員会
新設道路建設反対委員会
原宿の生活環境を守る会